

# 往古来今 中山道太田宿

日 時 令和 7 年 11 月 30 日 (日) JR 美濃太田駅に 午前 10 時半に 集合  
行 先 旧中山道 太田宿 (岐阜県美濃加茂市)  
行 程 JR 高山線美濃太田駅から歩き始めます (歩く距離は3-4kmほど)です  
交 通 この名鉄新鵜沼行特急に乗り、新鵜沼で JR に乗り換え、美濃太田にお越しください

|      |       |      |      |      |      |      |
|------|-------|------|------|------|------|------|
| 名鉄金山 | 名鉄名古屋 | 岩倉   | 犬山   | 新鵜沼  | JR鵜沼 | 美濃太田 |
| 0918 | 0922  | 0935 | 0949 | 0954 | 1008 | 1019 |

参加費 交通費と昼食代の実費ご負担のみ (名鉄名古屋・美濃太田間は片道 900 円です)

見 処 こんな近場に…！ 往時の歴史的町並みをご堪能ください

毎年恒例、岩倉市郷土研究会とのコラボ企画、史蹟散策会のご案内です。今年は中山道太田宿を歩きます。御嵩宿から可児市の伏見宿を経て、今回散策の太田宿から鵜沼宿にかけては、中山道のなかでも往時の雰囲気が充分に残されている地域のひとつです。

今回の訪問地太田宿は、「木曾の棧橋太田の渡し碓氷峠がなくばよい」と謳われた中山道の難所の一つです。往古の旅人にとって川渡りは難儀なことだったでしょう。でも太田宿は土地が平らで人口も多く、尾張藩の代官所も置かれるなど、大変賑わった宿場街だったそうです。

そんなわけで今回は平坦な道を歩きますので、老若男女どなたでも安心してご参加いただけるかと思います。

JR の美濃太田駅から歩きはじめますが、ボランティアガイドの水口さんはじめ、地域の方々のご協力で、市観光協会発行の案内パンフレットにも載っていない、とっておきの歴史的見どころをご案内いただけるそうです。

そんな話を聞くと期待はいやがおうにも深まりますね。

旧脇本陣である林家の建物の母屋の内部、ここは普段は公開していない居住中の区域なのですが、そこも特別に見せていただけることになりました。これは見逃せません。また本陣の福田家の母屋にも貴重なお宝が多数あるとのことで、そちらも見学できるよう交渉中とのことです。そんな話を聞くと期待はいやがおうにも深まりますね。

帰路は美濃太田発 14 時 54 分の列車に乗り、名鉄名古屋駅に 16 時前後に到着するような行程を予定しております。

美濃太田は近代文学の父、坪内逍遙の生誕地です。

尾張藩代官所に勤める藩士の家柄だったようですね。

彼にまつわる史跡・文学碑にもご期待ください。

当日は紅葉の最盛期。

晩秋の爽やかな一日となりますことを  
お祈りいたします。

参加ご希望の方、ご質問のある方、  
こちらにご連絡ください。

090-9900-6044 宮崎雄二

